

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ戸塚吉田町保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：戸田 謙介	定員（利用人数）： 105名（利用人数：105名）
所在地：〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町104-2 ザ・パークハウス戸塚1階	
TEL：045-866-2822	
ホームページ：http://www.gkids.co.jp	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：	
職員数	常勤職員： 25名 非常勤職員： 9名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：27名 栄養士：4名
	看護師： 1名
施設・設備の概要	（居室数） 保育室（5） 乳児室 事務室兼医務室 調理室 更衣室
	（設備等） 幼児用トイレ（2） 多目的トイレ シャワー室 沐浴室 園庭

## ③理念・基本方針

## 企業理念

子ども達の未来のために

## 保育理念

豊かに「生きる力」を育てる

## 園の保育目標

- ・ありのままの自分を大切にできる子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども
- ・自分の好きなことに自信がもてる子ども
- ・相手の気持ちがわかる子ども

## 園の保育方針

- ・子どもにとって居心地の良い、安心できる場所がある保育
- ・子どもの気持ちを尊重し、寄り添い受け止める保育
- ・子どものつぶやきに耳を傾けながら、共に考え向き合う保育

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

「主体的で対話的で深い学び」が、これからの時代のキーワードになる中で、自ら考え、自ら学び、自ら判断して行動できる「生きる土台」を育むことを大事にして保育にあたっています。

乳児期の愛着形成や基本的信頼を大切に、第二の家庭を目標としています。

幼児期は、「子どもミーティング」で対話を繰り返しながら、子どもの「やりたい」気持ちを実現できるようにしています。

10年、20年経ったときに、自分たちの社会は自分たちで創れる人を育てることを最終目標としています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月16日（契約日） ～ 令和3年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（ 2017年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### 1) 理念と方針の実現を目指した職員育成の取り組み

法人で作成された「GKガイドブック」には、理念の実現を目指した保育の実践に向けて大切にすべきことなどが記載されており、社内研修を行うほか、ガイドブックに沿った講義の動画を作成して職員がいつでも見ることができるようになっています。

園では、理念をもとに園の保育方針と保育目標を設定し、園の保育の方向性を具体的にまとめた冊子「グローバルキッズ戸塚吉田町保育園の保育」を作成して全職員に配付しています。園長は主任、リーダー保育士と連携し、誰もが自園の保育を語ることができ、保育の場面において同じ目線、同じ思いで子どもと関わることができるよう全職員の意識統一を図りながら職員育成に取り組んでいます。

##### 2) 保育の質の向上を目指した取り組み

園では「環境」「発達」「縦割り」「保育内容」のプロジェクトチームを編成し、それぞれの視点から保育のあり方を検討して実践につなげています。

環境チームは、園内外のハザードとリスクの観点を整理し安全面の環境整備を行い、発達チームは、発達段階を明確に捉え各クラスの発達の連動性を検討、縦割りチームは、幼児クラスの縦割り保育実施に向けた課題の整理、保育内容チームは、子どもたちの活動の様子を写真とコメントで記録を積み重ねていくドキュメンテーションの導入について保育事例を取り上げながら意見交換を行うなど、園全体で保育の質の向上に向けて取り組んでいます。

##### 3) 子どもの主体性を尊重した保育の実践

園では「環境」「発達」「縦割り」「保育内容」のプロジェクトチームを編成し、それぞれの視点から保育のあり方を検討して実践につなげています。

環境チームは、園内外のハザードとリスクの観点を整理し安全面の環境整備を行い、発達チームは、発達段階を明確に捉え各クラスの発達の連動性を検討、縦割りチームは、幼児クラスの縦割り保育実施に向けた課題の整理、保育内容チームは、子どもたちの活動の様子を写真とコメントで記録を積み重ねていくドキュメンテーションの導入について保育事例を取り上げながら意見交換を行うなど、園全体で保育の質の向上に向けて取

り組んでいます。

◇改善を求められる点

1)保護者が意見を述べやすい環境作り

「苦情解決規程」や「重要事項説明書」等で、確立した苦情解決の仕組みを保護者等に周知しています。保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されて、そのことを保護者に伝えていますが周知徹底がされていません。保護者が気軽に相談できる雰囲気配慮するとともに、園以外の第三者委員などに相談できることを伝える工夫が期待されます。保護者が相談や意見を言いやすくすることにより、信頼関係も深まるものと期待されます。

2)中長期的な視点での具体的な到達目標の設定

園では、職員の育成や縦割り保育、ドキュメンテーション保育の導入などについて、中長期的なスパンでの取り組みを行っています。また、園の自己評価のより効果的な実施方法などを課題と捉えています。これらの取り組みや課題の改善に対する到達目標をより具体的に設定し、中長期の事業計画と収支計画を作成されることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、2度目の第三者評価受審となり、関係者の皆様には感謝を申し上げます。ありがとうございました。コロナ禍という未曾有の状況の中で、保護者の方との情報共有の方法をアドバイスいただいたり、中長期計画の具体化などもご指導いただき、勉強になりました。開園して7年目になり、保育の部分ではだいぶ定着はしてきているので、これからはさらに視野を広げていきながら、地域に根付いた保育園となるように職員一丸となって努力していきたいと思えます。また、保護者の方が安心して預けられ、何でも相談できる雰囲気をより一層築いていこうと思えます。職員全員で課題抽出、改善を繰り返しながら子どもたちと共に成長できる場にしていきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり